

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 19 日作成)

小委員会名	基礎構造部材の強度・変形性能小委員会	主 査 名：河野 進 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (直属)	委員長名：塩原 等
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2022 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	基礎構造部材の最新の知見・データを収集・分析を行い、成果物を「基礎構造部材の強度・変形性能」として刊行する。「建築基礎構造設計指針」および「鉄筋コンクリート基礎構造部材耐震設計指針 (案)・同解説」を補足・追加する。 初年度：最新の知見・データの収集・分析および原稿の執筆 2 年度：運営委員会、本委員会の査読対応、脱稿 3 年度：刊行、講習会の実施	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：河野進(東京工業大学)、 幹事：土方勝一郎(芝浦工業大学)、金子治(広島工業大学)、小室努(大成建設)、 委員：田村修次(東京工業大学)、小林勝巳(フジタ)、木村祥裕(東北大学)、 岸田慎司(芝浦工業大学)、井川望(東北学院大学)、飯塚正義(プレハブ建築協会)、 浅井陽一(トーヨーアサノ(COPITA))、今井康幸(丸五基礎(耐震杭協会))、 廣瀬智治(クボタ(鋼管杭・鋼矢板協会))、渡辺一弘(日本総合住生活)	
設置 WG (WG 名：目的)	RC 基礎構造部材性能検討WG： 場所打ち RC 杭、パイルキャップ他の基礎構造部材の検討と担当の章の執筆 既製コンクリート杭性能検討WG： 既製コンクリート杭 (PHC 杭・PRC 杭、SC 杭) の検討と担当の章の執筆 場所打ち鋼管コンクリート杭性能検討WG： 場所打ち鋼管コンクリート杭のデータ収集・分析と担当の章の執筆 鋼管杭性能検討WG： 鋼管杭のデータ収集・分析と担当の章の執筆	
2019 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：—

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 基礎構造部材に関する最新の知見の収集・分析を行い、原稿を作成した。 2. 来年度初めから運営委員会、引き続き本委員会の査読を受ける予定。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 遅滞のないよう、スケジュールに沿って作業を進めて行く。